

金沢大学附属病院で 脳神経外科を受診した脳腫瘍の患者さんへ

「言語機能のシフトについての研究」に関して

脳腫瘍の手術を行うと、正常な部分も摘出してしまふ、または傷つける可能性があるため、いろいろな後遺症が残ることがあります。特に言語野は手術により重篤な機能障害を残してしまうため、この領域にできた脳腫瘍は手術により摘出できないと考えられてきました。しかし、近年、覚醒下手術で脳機能を直接しらべることにより、言語領域にできた脳腫瘍でも安全に手術できる可能性があることが分かってきました。覚醒下手術とは、手術中に目を覚まして、いろいろな課題を行い、脳の機能を調べながら行う手術のことです。覚醒下手術は、脳の大切な機能を残しながら行える唯一の手術です。現在、従来不可能と言われていた言語領域の手術が可能なのは分かりつつありますが、なぜそのようなことが可能なのかは正確に分かっていません。しかし、言語野にできた脳腫瘍が安全に摘出できるのは、脳腫瘍ができることにより、本来の脳の機能が別の場所にシフト（移動）している可能性が指摘されています。

今回、私たちは神経膠腫（グリオーマ）における脳の機能シフトの特徴とそのメカニズムを調べることにしました。本研究成果は、従来は手術できないと考えられていた言語野の腫瘍でも安全に手術できる可能性を示唆しており、脳腫瘍の手術に携わる人にとって大変意義のあるものであると考えています。

これまで、当科における覚醒下手術は、施設認定を受け、通常の保険診療の範囲内で行っております。また、本研究は、すでに得られたデータを用いて過去に振り返って検討を行う研究です。なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

研究の対象は2013年から2020年7月までの間に金沢大学で脳腫瘍、またはその他の脳内病変に対して覚醒下手術を施行された方です。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、**2021年10月までに**そのことをお申し出ください。その場合、あなたの資料を研究に供することはありません。

2. 研究の目的について

研究課題名：言語機能のシフトについての研究

この研究では通常の保険診療の範囲内で行われた覚醒下手術に関する情報を用いて、言語機能のシフトを明らかにします。

3. 研究の方法について

この研究ではすでに本学において覚醒下手術を施行された方の診療記録の記載情報にもとづいて、言語機能のシフトの特徴を解剖学的に検討します。収集したデータと解析結果は学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報公表されることは一切ありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学医学倫理委員会の承認日から2025年5月31日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・ 年齢
- ・ 病理，腫瘍の遺伝子情報（IDH-1, 1p19q, MGMT）
- ・ MRI画像，病変の領域と範囲
- ・ 手術所見（言語が陽性所見であった部位）
- ・ 術前，術後，術後3ヶ月の言語機能

6. 外部への試料・情報の提供・公表

収集されたデータは学会や論文などに発表されます。

7. 予想される利益と不利益について

この研究は診療記録より後方視的に得られたデータを統計解析する研究であり、この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また、不利益もありません。しかし、個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため、新たに個人情報を扱うことはありません。なお、診療記録より得た情報については、これまで実施してきたと同様、研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また、これらの情報は鍵のかかる机に保管し、個人情報が流出することがないように、細心の注意を払います。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

10. 研究組織

研究責任者：金沢大学 脳・脊髄機能制御学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 脳・脊髄機能制御学 講師 木下 雅史

金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

1 1. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、**2021年**10月までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 2. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262